

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ぐんぐんの森		
○保護者評価実施期間	令和6年4月1日		～ 令和7年2月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	41	(回答者数) 26
○従業者評価実施期間	令和7年2月8日		～ 令和7年2月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月11日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用児童や保護者が安心して通ったり、通わすことができていると思っております。 保護者と密に連携をとっています。	日頃より、利用児童の保護者が見学・参加ができるようにしています。実際に児童と職員の関わりを見ていただいたり、一緒に療育に参加してもらうことで、安心して通うことができるように工夫しています。	保護者や関係機関とよりコミュニケーションを図り、一人ひとりにあった療育内容にしていくことで、安心して通うことができるようにしていきます。
2	怪我等が発生した際に、事業所から速やかな連絡や発生した際の状況等について説明しております。	事業所を利用している時だけでなく、学校や登下校時など、発達の特性からつまずいて転んだり、頭をぶつけてしまうことが多いです。些細な怪我でもその都度丁寧に保護者には状況を伝えています。 特性を理解し、ボディイメージや空間認知をもつようなことができる療育プログラムを取り入れるなど工夫しています。	特性を理解した活動を繰り返し取り入れていくことで身に付き、怪我を減らしていきたい。また、怪我や事故があった場合には、保護者にはその都度丁寧に伝えていきます。
3	防災訓練・避難訓練に力を入れています。	防災週間を年3回実施しました。避難訓練の他に、防災クッキング、防災クイズ、公衆電話で保護者に電話するなど、学ぶ機会を多く設け「いざ」という時に、少しでも自分で判断し、安全に過ごすことができるように工夫しています。	震災が来た時に、少しでも自分たちで自身の身を守ることができるよう、知識を増やしていきたい。 書類や口頭では伝えているが、保護者にも避難訓練の参加していただき、避難場所の確認をしていきたい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	外部の研修に行く機会が少ない。	施設内では研修や学ぶ時間があるが、外部研修に参加できる機会が少ない。職員配置を考えると、外部研修に参加することが難しいのが現状である。	外部研修に参加できるような職員配置にしていく。また、特定の職員だけでなく、まんべんなく外部研修に出ることができるようにしていきたい。
2	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会について	同じ会社の療育施設3事業所とは、夏祭り・焼き芋パーティー・カフェ体験など交流を持つことができます。児童とも、プロバスケとの交流など通して一緒に活動しましたが、保護者の評価で「わからない」の回答が多かったため、保護者に伝え方が弱かったと感じています。	事前に活動内容の報告と、活動後の報告の徹底をしていきます。
3	正職員との話し合いは毎日おこなうことができているが、パート職員との話し合いができていないことがある。	パート職員には下校時間の送迎に合わせて出勤をしてもらっているため、引継ぎノートを活用したり、伝達はしているものの、全体で話し合いをする時間が少ないのが現状です。	今後は必要に応じて時間の確保をし、社員・パート・ドライバーの全体で話し合っていきたい。